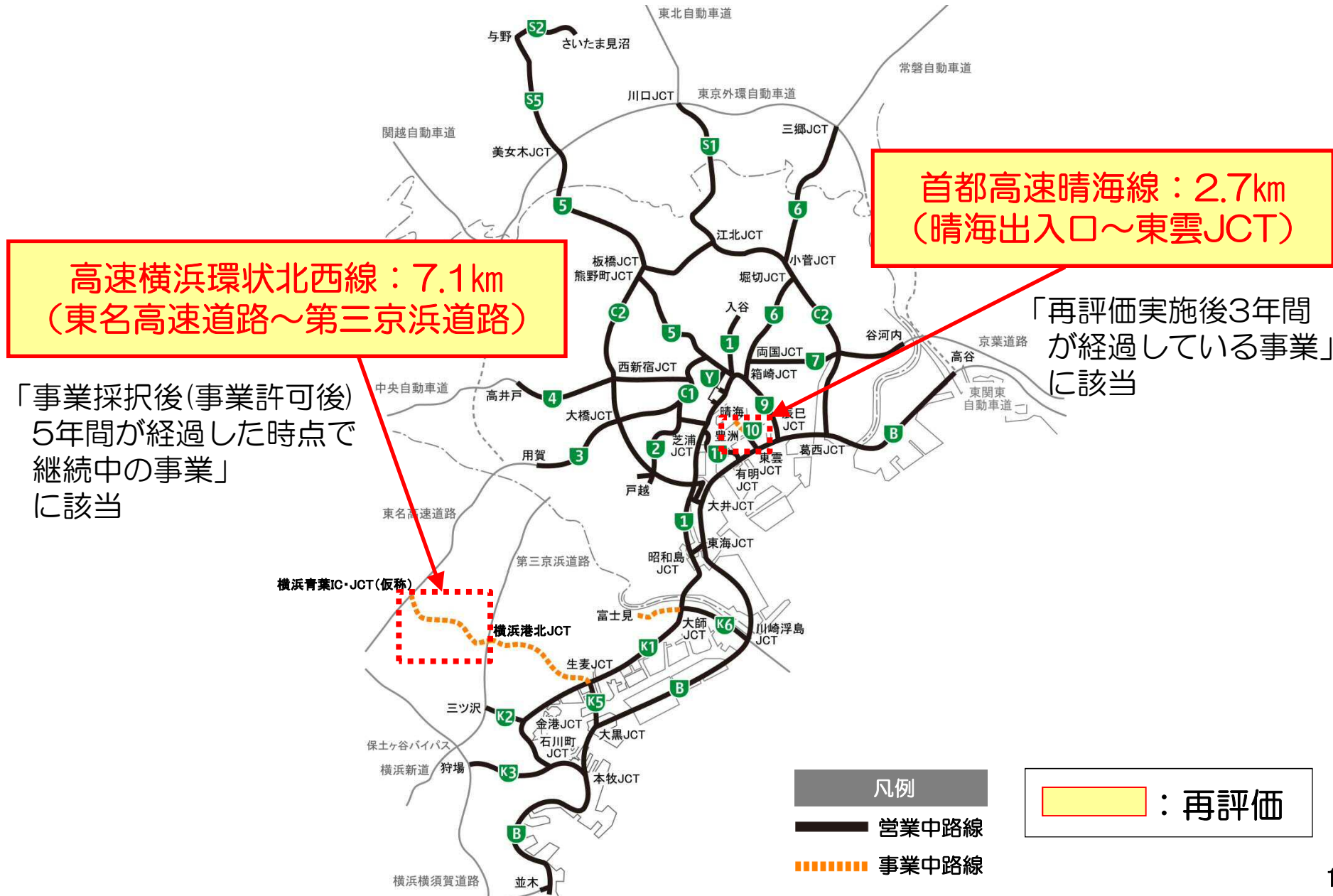
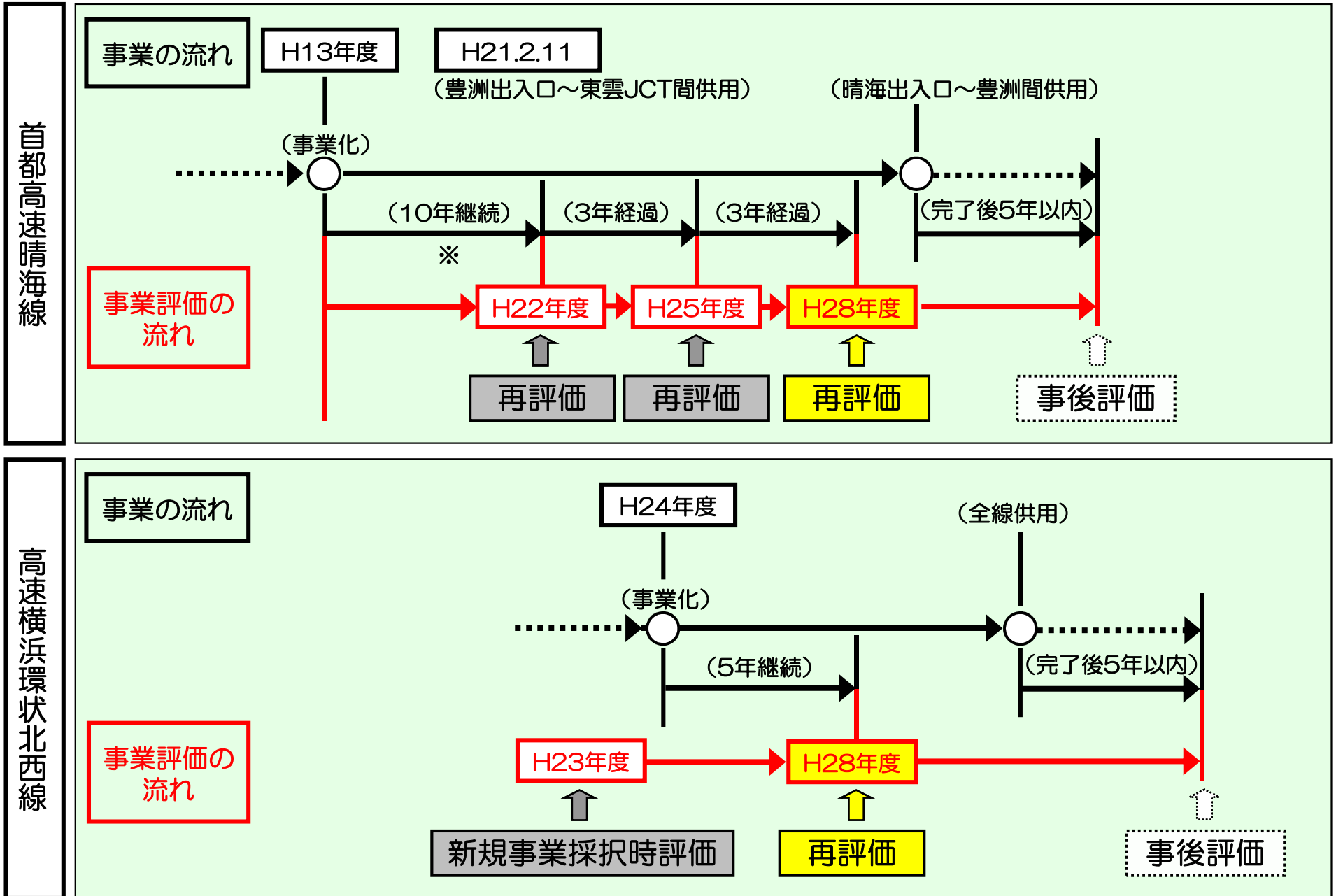


事業評価について

事業評価対象路線

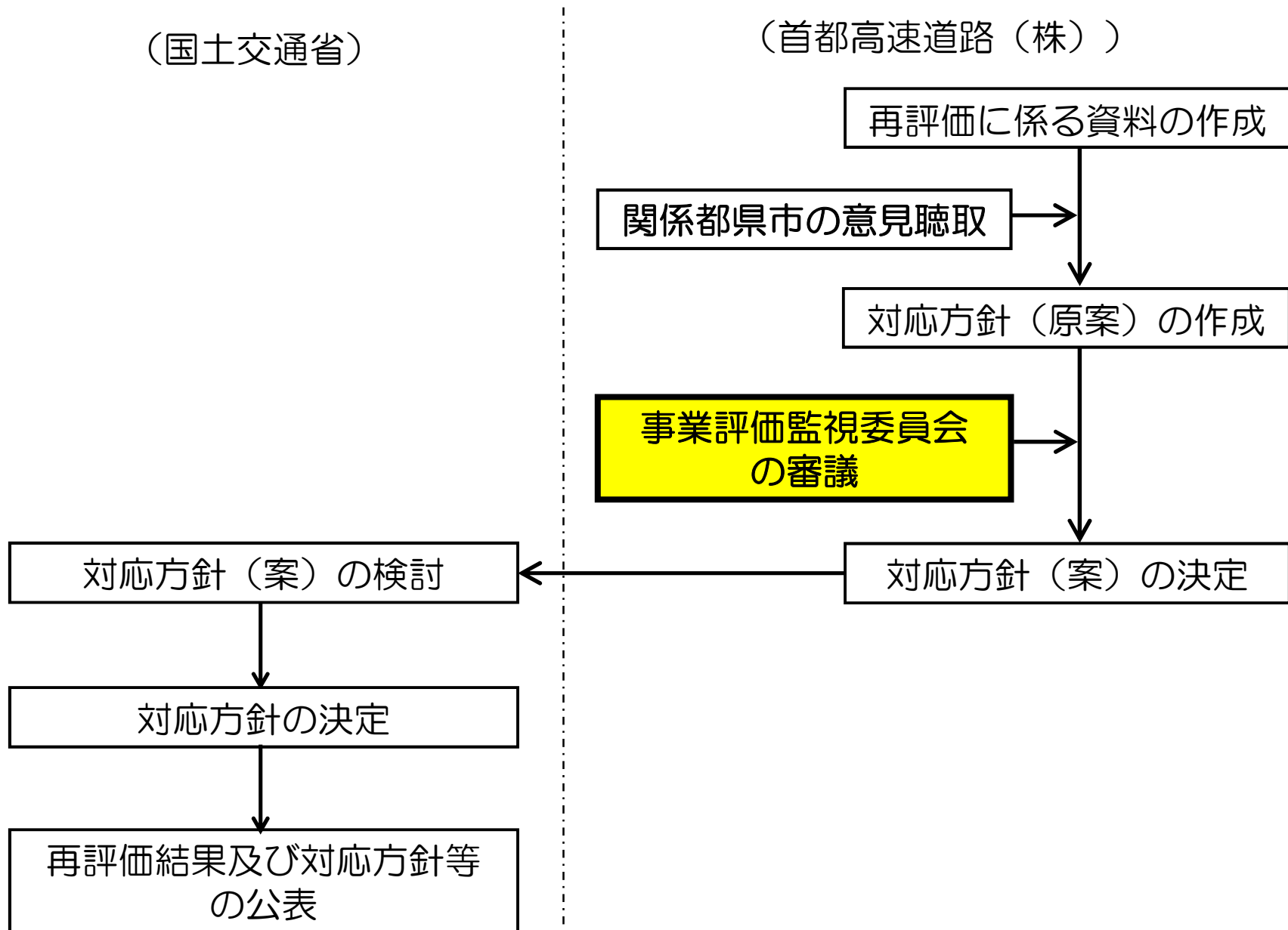


〈対象路線 評価の経緯〉



※公共事業の評価実施要領 (H22.4.1改定) の経過措置に拠る

再評価の実施フロー



本事業評価の前提条件

- 平成17年度道路交通センサスに基づく将来交通量
- 「費用便益分析マニュアル（平成20年11月）」

○ 将来交通量

- 平成42年の将来OD表を基に推計した交通量
- 将来OD表及び交通量推計手法は「将来交通需要推計手法の改善について【中間とりまとめ】」に示された改善を反映

○ 費用便益分析マニュアル（平成20年11月）国土交通省 道路局 都市・地域整備局

- 便益および費用の現在価値算出のための社会的割引率：4%
- 基準年次：平成28年度
- 分析対象期間：供用後50年
- 車種別の時間価値原単位（平成20年価格）
 - 乗用車 : 40.10円/分・台
 - バス : 374.27円/分・台
 - 小型貨物車 : 47.91円/分・台
 - 普通貨物車 : 64.18円/分・台